

夜勤月9回以上 残業50時間以上も

高齢化が進み、医療が高度かつ複雑になる中、顕在化する看護師不足。離職者が多いことが大きな原因で、結婚・出産や勤務の過重さを理由に職場を去る女性看護師が相次ぎ、採用が追いつかないのが実情だ。済済には、女性の社会進出が進んでいない時代と同様、キャリアを積んでも昇給幅が小さいなど、結婚による大規模退職を前提とした構造があるとの指摘もある。

【福永万人、写真も】

明日のカルテ

第3部 看護師不足の現場から

「子育て両立困難」

「夜勤を含むシフト」も15人、09年度は5をこなしながらの子育入。20代後半〜30代前では本場大変。3半の女性が結婚や出産入の子を持つ単身立などを機に離職する。小児医療センターの働きが多いが、臨床・講師、白井桂子さん「育休から復帰した後に(40)は断える。3人諦める人もいる」とも小さかった時は心う。

身共にきつく、子供に「白井さんが勤務する当たってしまつても、新生児集中治療室(Nあり、毎日仕事を辞めICU)の看護師は、よつと想っていた」

半夜勤(午後4時半〜看護師約190人の午前1時15分)と深夜同センターでは、離職(午前0時半〜9時)者が07、08年度はいずれも15分が月に計9〜12

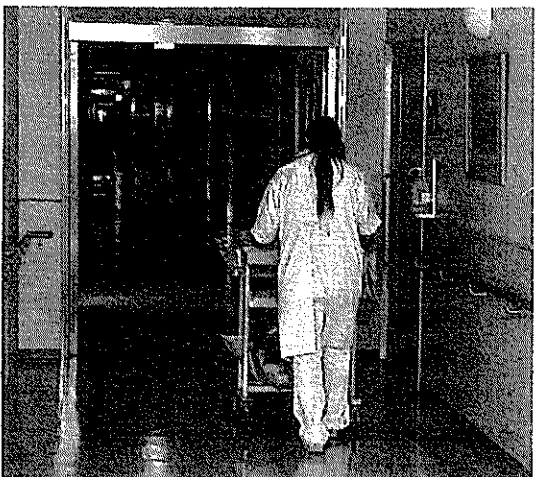
年10万人離職の悪循環

◆看護職員の離職理由◆

(日本看護協会09年度調査、複数回答)

妊娠・出産	30.0%
結婚	28.4%
勤務時間が長い・残業が多い	21.9%
子育て	21.7%
夜勤の負担が大きい	17.8%
健康問題	16.4%
転居	15.8%
責任の重さ・不安	14.9%
医療事故が取れない	14.4%
休暇が取れない	14.4%
配属者の転勤	13.5%

回。日勤(午前8時半〜午後5時15分)に勤務と勤務の間のわずかにいて深夜勤というパターン時間に帰宅し、食事や家事、子供を寝かせ



午前5時過ぎ、穏静まった病棟を巡回する看護師
—兵庫県姫路市の公立豊岡病院で11月

るなどすると、仮眠はほとんど取れない。白井さんは「子供に早くご飯を食べ、宿題をやるようせかすことが多かったので、小学校の担任から『お宅の子は落ち着きがない』と言われたことがあった」と苦笑いする。

夜勤免除や短時間勤務などの制度もあるが、「人手が不足しているため同僚に迷惑がかかる」と思い、申請する人はほとんどいない(白井さん)。夜勤が増加には追い付いていない。04年には、看護職員の離職者が約43万人に達した。だが、医療の高度化や高齢化などに伴う需要の増加には追いついていない。04年には、看護職員の離職者が約43万人に達した。だが、医療の高度化や高齢化などに伴う需要の増加には追いついていない。04年には、看護職員の離職者が約43万人に達した。

離職の理由は、結婚や出産だけでなく、勤務時間の長さや残業の多さを挙げ、看護師も目立つ。残業時間(08年)は、シフト勤務者の過労死の公務労務者が認定された判例の基準である月50時間以上の人が8%近くになり、夜勤回数はいずれも15分以上が半数を占める。若手の看護師からは「こんなに寝られない仕事だ」とは思わなかった」との声も聞かれる。

キャリアで待遇改善せず

感染症にかかるリスクや、医療事故で訴えられるかもしれない不安を抱えながら働いているのに、待遇が良くないのは納得いかない。日本看護協会の調査(09年)では、給与の低さを不満に感じる看護職員が5割を超え、そのうち約6割はそれが原因で離職を考えたことがあるという。同協会の小川忍常任理

事には「キャリアを積んでも待遇面で報われない」という、女性の社会進出が進まない時代のような構造が大規模離職の一因と指摘する。一方、新人の大規模採用は、09年より約1万2000人増え、若手の教育を担う中堅職員も少ない約2万4000人増え、若手の教育を増大させる。その結果、給与の低さを不満に感じる看護職員が増加したり、教育がおろそかにされるといった悪循環も生じている。

「やりがいある仕事だが……」

看護師の増加や待遇改善を実現するには、病院の経営状態や管理職の意識によることも大きい。小川常任理事は「看護師を増やした病院は増収となるよう診療報酬を改定し、夜勤手当の増額を運動して実施するなど、国と病院管理者が連携して離職防止策を進めるべきだ。看護師が安心して働ける環境づくりこそが、患者の安全を守ることに繋がると訴えている。

給与の低さ不満 5割超

看護師の給与は、年齢を離れてもあまり上がらない仕組みになっている。人事院の調査(09年)によると、看護師の平均月給は夜勤手当があることから、20代のうち約30万円で薬剤師や臨床検査技師など他の医療職より高いが、30代以降は徐々に抜かれていく。看護師は56歳以上でも40万円に届かない。

東京都内の大学病院の女性看護師(1)は「看護師はやりがいのある仕事だが、

明日の カルテ

第3部 看護師不足の現場から

1 2 3 4

臍^{へら}臓から腫瘍を摘出す手術中の医師が無言で差し出した手に、「器械出し」と呼ばれるスタッフの大元彩菜さん(22)が素早く電気メスを渡す。埼玉医科大学国際医療センター(埼玉県白高市)の手術室。間もなく医師から使い終えたメスを渡され、また使えるよう血や脂をぬぐって100以上の器具が並ぶ台に置く。大元さんは手術の進行を見つめ、次の器具を渡すタイミングを探った。

ナースに代わり

手術には医師以外に「器械出し」と、患者の安全を総合的に見守る「外回り」のスタッフが必要だ。器械出しには手術の手順や器具の知識が、外回りは容体把握や看護の力がある。従来はいずれも看護師が務めてきた。

メス渡す技師の卵

だが大元さんは看護師ではない。免許申請中の「衛生検査技師」の卵だ。同センターは今春、看護師不足への対策として、大元さんら技師の卵2人を器械出しとして採用。約2カ月の教育後、6月ごろから独り立ちした。

同センターの小山勇副院長(消化器外科)は「手術室が16室あるが、看護師不足で同時には12室程度しか使えず、患者さんに数週間手術待ちをしてもらう状態だった。器械出しの仕事は看護というより医師の補佐で看護師でなくてもよい」と説明する。手術数は昨年度は約5300件だったが、手術室の稼働率が上がり今年度は5700件を上回る見通しとなった。

学会で議論に
信州大医学部の深澤佳代子教授(臨床看護学)が06、08年、全国の大病院や公立病院など約130施設を調査したところ、手術室の看護師は平均で1病院あたり5〜6人不足していた。病棟の看護師数には診療報酬上の基準があり、人数が報酬に直結する。一方、手術室看護師には基準がなく、確保は後回しになりがちという。

そんな中、看護師以外の器械出しは各地の病院に広がり始めている。保健師助産師看護師法は、看護師以外が「診療の補助」を業として行うことを禁じる。複数の学会で

議論になり、「違法では」との声も出ている。

手術室看護師を約20年務めた深澤教授は「看護師不足解消の見通しはななく、やむを得ない」と理解を示し、厚生労働省看護課は「器械出しが診療の補助にあたるかは一概に判断できない」と説明する。ただ、深澤教授は「器械出しは専門職で、一定の研修や資格が必要。医療資格のない人が務める例も聞き、医療の質の低下が心配だ」と指摘する。

ベッド増やせず
看護師不足は各地で医療体制の確保にも影を落とす。

ベッド数569床の静岡県立静岡がんセンター(静岡県長泉町)。患者が多く、手術を1カ月待つ人もおり、本来は05年度に615床にする計画だった。実現には看護師約90人が必要で、毎年約100人募集するが、採用者は約70人。退職者を引くと実増は年10人弱で、いつ実現できるか不明という。



医師に手術器具を手渡し大元さん(左端) 埼玉医科大学国際医療センターの手術室で

【高木昭午、写真も】

ナースコール鳴りやまず1人で患者16人担当

過酷な夜勤に疲弊

医師不足が問題になっているが、実は看護師不足も深刻化している。厚生労働省の検討会の推計では、全国で看護師など看護職員が11年時点で5万6000人不足し、25年には最大で約45万人も足りない恐れがある。看護師たちは過酷な勤務で疲弊し、医療の安全確保にも影響が及ぶ。看護の現場で何が起きているのかを追う。

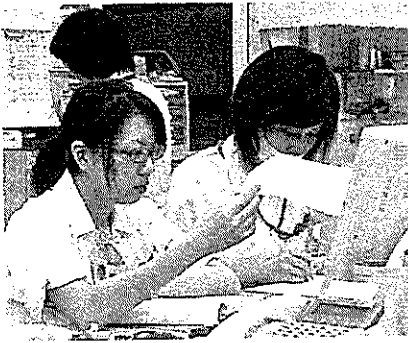
(3) 画に看護師(1)

明日のカルテ

1月20日

第3部 看護師不足の現場から

深夜の静寂を切り裂く。別の病室からは、心臓図い病棟に響き渡る。午 モニターの異音を知らぬ時すぎ、入院患者 せるアラーム。3人のからのナースコール 女性看護師が病室元の だ。少し遅れて別の患 部際を自ら歩みしへ回



午前9時、日勤の看護師(右)が、夜勤の看護師(左)に引き継ぎする。夜勤の看護師は兵衛東部市の公立西岡病院で1日

く巡回する時間を経て、深夜勤と深夜勤は各 2人で、1人当たり16 人もの患者を担当しな なければならない。 看護師の負担は、 通常の夜勤の前は 1人 を満たす医療職 関は収入が増えるよう になったことを受け、 採用を増やして昨年8 月から7割増した。 だが、現場の人手不 足は解消されない。医 療の高度化で患者の在

着は1月中旬、「6ー 15分休めれば、日勤で、日勤終了から 交代で折分ずつ休職す ることになっている。 けれど、休職は、 看護師の負担は、 通常の夜勤の前は 1人 を満たす医療職 関は収入が増えるよう になったことを受け、 採用を増やして昨年8 月から7割増した。 だが、現場の人手不 足は解消されない。医 療の高度化で患者の在

医療高度化増す負担

夜勤、2時間ごとに全 入職する目の谷田 さんは「仮眠は2時間 くらいで、寝れが全然 取れない。深夜勤務に 慣れていない日もある」と 話さす。「急変患者 ため、入院患者に上め る重症者の割合が上 がなくてもギリギリの 状態。あと1人でも増 え、特に夜勤は過酷だ。 森本七郎看護部長は 「1日」看護師は 1人、月計8〜9回あ 約470人。06年度の

きたいという人も多 くないと嘆いた。 【福永方人、写真も】